

青春 ふたたび

平成 30 年度 講座部本科 開講式

4月8日大阪市立住まい情報センターホールにて講座部本科の開講式が行われ、新たに174人の自然大好き、元気潑刺なシニアたちが新しいスタートを切りました。

開講式は、本校代表理事 濱面 誠の「これからの1年、星組さんは2年をかけて学び体験することを、自分だけでなく、周りの人々にも伝えていく役割を担えるように期待しています。次の世代へのバトンタッチは私たちの義務ではないでしょうか」、「人生経験が多様で豊かな皆さんばかりです。良い出会いの場として、共に学び学校生活を楽しんでください。」という挨拶に始まりました。

本校役員・アシスタント (AS) の紹介に続き、川道 美枝子先生の「世界のシマリスを追いかけて45年」と題する記念講演がありました。

川道先生の、45年間にわたるシマリスの研究成果を楽しく講演され、会場の皆さんは時には笑いを誘われながら聴き入っていました。先生は、最後に「皆さん、今からでも遅くありません。70歳から研究を始めても100歳まで。30年も研究できますよ。十分に成果が得られます。是非私のアイデアを盗んでください。」と新しい青春をスタートする皆さんにエールを贈っていました。



濱面 誠 代表理事



記念講演 理学博士・関西野生生物研究所代表 川道美枝子先生

今年は受講生の募集に大変苦労した年でした。ですが、どうにか174人の新しい仲間が集まることのできたことは、会員の皆さんの努力の賜ではないでしょうか。

新入生の内訳は、男性82人、女性92人、平均年齢65.6歳、昨年よりほんの少しだけ若返っています。その理由の一つ、何と19歳の男性が入学しました。前代未

聞、25年の歴史の中で最年少の若者です。公民館の募集のパンフレットを見て興味を持ったということです。動物に興味があり、自然環境のことを幅広く知りたいとのことでした。「パンフレットの写真で、それなりに祖父祖母の年代の人の集まりだとはわかっていたが、想像以上でしたと彼。

今年の受講生には、多くの特徴があります。まず、男女比が逆転したこと。これも初めてのことでないでしょうか。放課後の反省会もきっと様変わりすることになるのではないのでしょうか。もう一つ、ご夫婦での参加が5組もいること。

14時から始まって、初めての班会議まで。終了は17時を過ぎていたでしょう。皆さんお疲れ様でした。

本校の学びは、知識を詰め込むためものではありません、座学にせよ実習にせよ、仲間と語り合い同じ講座を受けても様々な受け止め方があることを知り、それを大切に感じる気付きの学習です。修了式を迎えるとき皆さんは、どのように変わられているでしょう。今から楽しみにお待ちすることに致します。

(広報 芳澤)



オリエンテーション